

経営のヒント113 4つの壁

リーダーは積極的に支配地におもむく

悪の人心掌握術と言われている「君主論」には、こんな文面があります。

「もっとも効果的な対策の一つは、征服者が現地におもむいて移り住むことである」

何故、そうするのか理由も述べています。

不穏な空気はすぐに察知できる。速やかに善後策を立てられる

地方長官が私腹を肥やす、領土を横取りされる心配もない

領民がいつでも君主に不満や窮状を訴えられる。謀反を起こしにくい

国に混乱の要素がなくなり 外国の侵略する隙がなくなる

現代の経営に置き換えてみると、どんなことなのか？

それは...ガラス張り（透明）の経営です。

ワンフロア、フリーアドレス、役員室オープン、垣根・仕切りなし、会議室透明、丸テーブル
これって、現在成長している企業が多く取り入れている会社の形態ですね。

人間（組織）は、保守的なものです。

そしてすぐに自分の城や壁を自ら造ります。

だから、わざと強制的に壊す必要があるのですね。

組織には、4つの壁があります。

1つ目は、ヨコの壁：部門間の壁です。結果的に部分最適の行動になります。

2つ目は、タテの壁：上司、部下の壁です。責任の逃避の原因になります。

3つ目は、風土の壁：会社、業界の壁です。自然にその組織のパラダイムが出来上がります。

4つ目は、心の壁：自分で限界を創ります。一番厄介な問題です。

では、この4つの壁を壊すにはどうすればいいのか？

スタートは、見える壁、つまりは物理的な壁をすべて、とっばらうことが一番です。

出来れば社員全員が一望に見えるような、でかいワンフロアがベストですね。

そして、机の上にはモノを置かせないこと。だからパソコンはノート型。無線がベスト。

当然、しきりも強制排除。

固定机もなし。フリーアドレス制。

上下の関係がないような、丸か楕円のテーブル（今までの四角はダメよ）

会議室はわざとなし（応接室はOK）、あってもガラス張りにして外部から見えるように

そして、一番大切なことは、トップ自らフロアの中心に席を移すことですね。

<経営のヒント>

本来、人間は保守的な動物。

本能として壁を創るものです。

だから、賢明な経営者はその壁を壊す努力をします。

しかし、普通の経営者は問題があるのに気づいても、いつかやろうと先送りします。

困ったことに、駄目な経営者は自分自ら壁を造ります。

壁を壊すこと・・・それがリーダーの仕事ですね！